

事業名	地域防災計画の推進
担当部署	総務局 危機管理部 防災課

行財政改革推進本部における論点(審議のポイント)

災害時の情報発信や収集について
 帰宅困難者対策について
 防災への啓発及び体制整備について

主な意見

【市民委員】

- ・災害時に各家庭や個人が事前に予防・準備することや、災害が起こった時にどうするかをチェック項目で点検したり、マニュアル化したものを各家庭でも見える場所に掲示できるようなものを配布できないか。
- ・広域防災無線が聞き取れない場所がある。避難場所に常時、待機している広報車の巡回とともに、避難誘導が必要だと思う。避難誘導の啓発を進めてほしい。
- ・今後は、各見直しや新しい防災の対する決定事項を定期的に市民に伝達する方法を考えてほしい。すばらしい防災計画があっても、災害時に市民が活用できるように情報を常に発信してほしい。
- ・区役所・避難所の通信機器設備の確認を定期的に点検することと市民を含めて、防災訓練も定期的に行って、これからの防災体制の維持管理の推進をお願いしたい。
- ・高層マンションが増加しているところ、このリスクにどう対応するのか。
- ・地域の中で、お年寄りなど弱い方々を皆で守れる方法など、自治会も連動して、啓発活動などしてほしいと思う。

【市民モニター】

- ・浦和と大宮駅付近は異なるので、地域にあった内容を自治会と話し合ってもらいたい。
- ・災害発生時は、初期、中期、長期といったように時間の経過とともに変化と思う。各々の時期に何が必要かを考えて行くことが必要である。
- ・防災無線など通信システムの電源確保を確実にすることが必要である。
- ・備蓄品の準備、情報収集の手段も大事だが、トイレの問題にも着目してほしい。
- ・竜巻対策、火山噴火対策も含めた点は評価できる。